

# 大笹生小学校

## 1、地層の観察

### (1) 観察する場所

大笹生ダムに通ずる村道  
学校より1.2 Kmの大きくカーブ  
する所のがけ

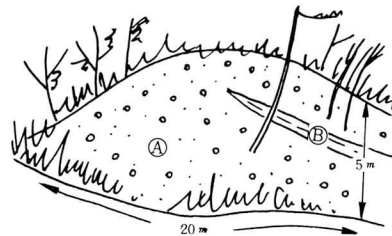


### (2) がけから離れて地層全体を観察する。

① 自動車等に注意し、地層全体が見通せる所に立って、がけの全景をスケッチする。

② レキの並びに特徴がないか、レキ層にはさまれている淡黄色のうすい地層の傾斜、がけの高さなど気付いたことを書き入れる。

③ このがけの高台は、川原で見られるような円レキがつもってできていることを理解する。



④ レキ層にはさまれている⑧層は地層のつもっている方向を示している。地層は水平方向に広がりをもつもっていることを理解する。

### (3) 地層に近づいて、その特徴を観察させる。

④層は10 cm～20 cm大の大きなまるいレキがつもってできた砂レキ層で、レキの多くは流紋岩や安山岩類で、これらのレキは表面が風化しています。

④層にはさまるような状態で観察される⑧層は凝灰岩質粘土がつもってできている、厚さは30 cmほどです。

これらの地層は、洪積世の古い段丘性のたい積物で、台山一带に見られる流紋岩の上につもっているレキ層です。